



2025年度第3四半期決算プレビュー

実績は減益予想もネガティブ視する必要はない

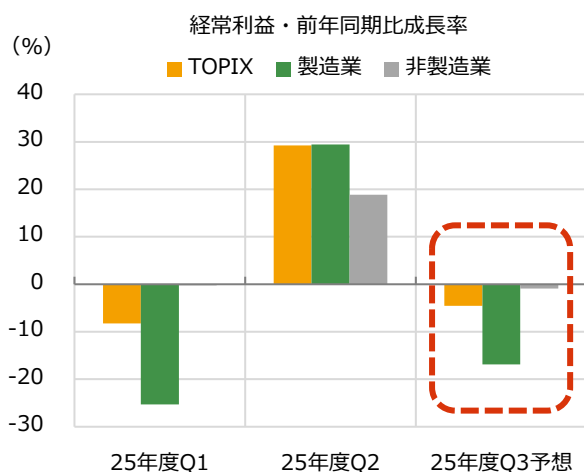
収益モメンタムは良好、3Q決算ではポジティブ・サプライズを想定

3月決算企業の2025年度第3四半期（10-12月期、以下3Q）決算発表が本格化します。コンセンサスでは、TOPIX構成企業（3月決算企業）の3Q経常利益が前年同期比▲4.6%、変動の大きいソフトバンクグループを除くベースでは▲8.7%の減益予想となっています。前年同期比で+29%の大幅増益となった第2四半期（7-9月期）からは急減速となりますが、ネガティブ視する必要はないでしょう。

3Qの経常利益を大きく押し下げているのは、関税の影響が大きい輸送用機器です。また、海運や鉄鋼などもTOPIXの3Q経常利益にマイナス寄与となっています。この3セクターは2025年度通期でもマイナス寄与が大きいものの、来期に目を向けると一転、輸送用機器と鉄鋼は業績回復を背景に2026年度の経常利益へのプラス寄与が大きいと予想されており、海運もマイナス寄与が大幅に縮小します。昨年後半以降、マーケットは関税の影響が大きい今期業績ではなく、来期業績を織り込みに行っていることから、3Q実績の減益に大きく反応することはないと思われます。さらには、為替市場での円安傾向、堅調に推移したグローバル・国内経済、AI関連の業績押し上げ効果、そしてインフレを背景とした堅調な名目GDPの伸びを踏まえると、3Q実績はアナリストの事前予想を上振れて着地する可能性が高いと思われます。

通期業績のコンセンサス予想は上方修正が優勢で、TOPIXの2025年度EPSリビジョンインデックスは夏以降、プラス圏での推移が続いています。中間決算以降、TOPIXの2025年度経常利益のリビジョンへのプラス寄与が大きいのは、金利高恩恵の銀行・保険、AI恩恵の大きい電気機器・非鉄金属、インフレ恩恵の建設、そして関税影響が当初想定ほど小さく、円安の追い風を受ける輸送用機器などです。

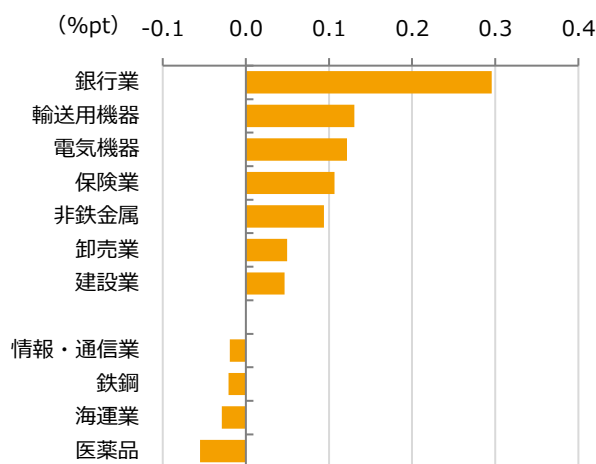
3Qは減益予想もネガティブ視する必要はない



※TOPIXを構成する3月決算企業、コンセンサス、
2026年1月21日時点

（出所）ファクトセットより大和アセット作成

11月以降、TOPIXのリビジョンへの プラス寄与・マイナス寄与が大きいセクター

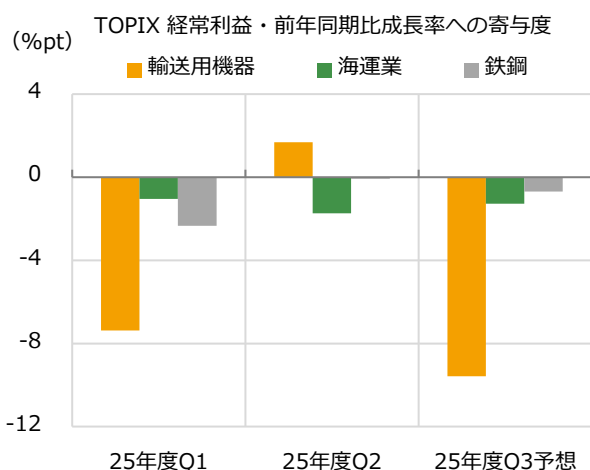


※TOPIXの2025年度経常利益予想、
2025年11月末と2026年1月21日のコンセンサスを比較

（出所）ファクトセットより大和アセット作成

市場の目線は来期に移っているとはいえ、3Q決算での注目点は多いです。AI向け設備投資の拡大を追い風に関連銘柄は力強い業績成長を続けてきましたが、市場の高い期待に応えられるかが焦点となります。メモリ不足については、銘柄によってプラス・マイナス双方の影響が想定され、その影響度合いや見通しに関するコメントが注目されます。日中関係の悪化を背景に中国が対日規制を強めており、レアアースへの言及や中国事業の動向、インバウンド需要への影響などが関心を集めるでしょう。関税の影響については安心感が広がっていますが、最新動向の確認は欠かせません。国内では、物価上昇が賃金の伸びを上回る中で節約志向が広がっていますが、価格転嫁や値上げの動向が注目されます。足元では債券市場で金利が急騰しています。金融機関の含み損が拡大しているとの懸念の声も聞かれる中、金利水準を踏まえて国債を買い増す可能性も指摘されています。どのような情報発信が行われるか、注視したいところです。

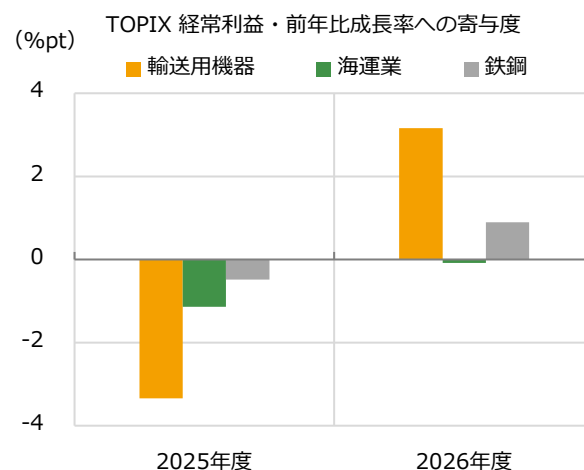
3Q利益を押し下げると見込まれるのは 輸送用機器・海運・鉄鋼だが…



※TOPIXを構成する3月決算企業、ソフトバンクグループを除く、2026年1月21日時点

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

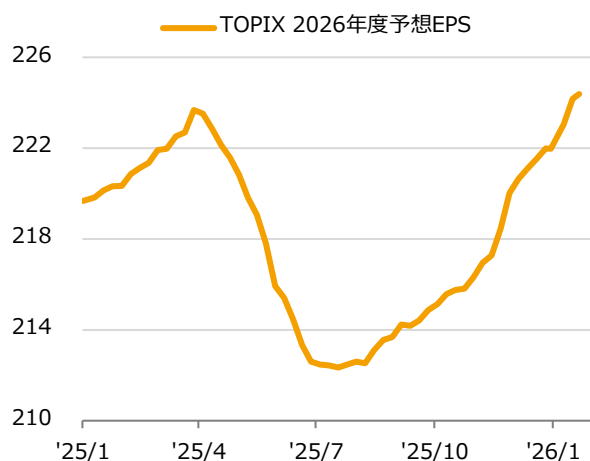
来期に目を向けると一転、輸送用機器と 鉄鋼はプラス寄与が大きいと予想されている



※TOPIXを構成する3月決算企業、ソフトバンクグループを除く、2026年1月21日時点

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

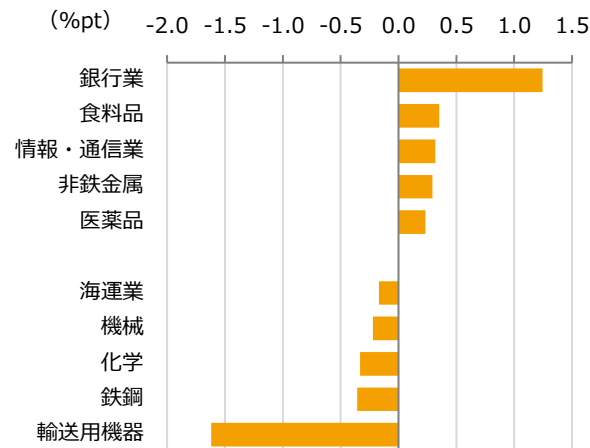
TOPIXの2026年度予想EPSはトランプ大統領 「解放の日」前の水準を回復



※最新値は2026年1月21日

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

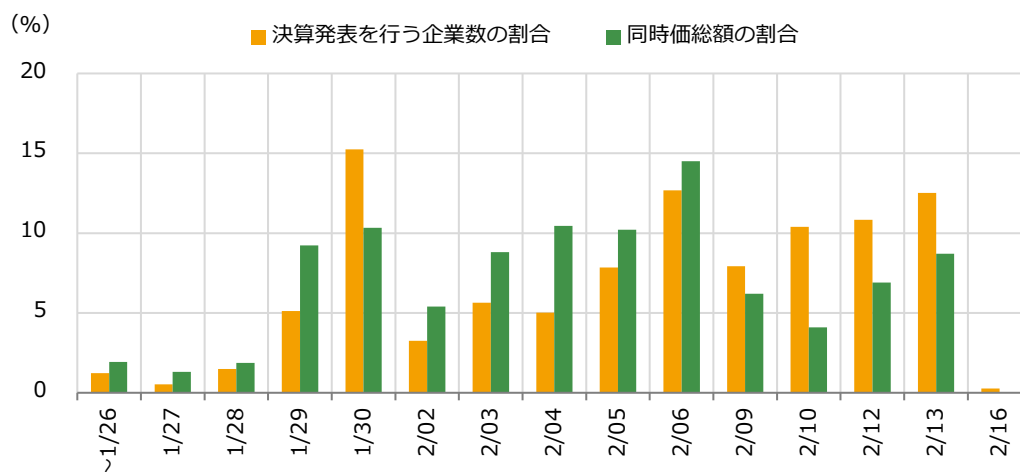
「解放の日」以降、TOPIXのリビジョンへの プラス寄与・マイナス寄与が大きいセクター



※TOPIXの2026年度予想EPS、2025年3月末と2026年1月21日のコンセンサスを比較

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

2025年度第3四半期・決算カレンダー



※TOPIX構成企業、3月決算企業、2026年1月21日時点

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

最新のレポート掲載ページはこちら

<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/countries/report/index.html>

URL <https://www.daiwa-am.co.jp/> お問い合わせ 0120-106212 (受付時間 9:00~17:00)

Daiwa Asset Management